

# SLOGAN

新産業・新事業を創造する社会をつくる  
We create impact through Potential Incubation.

ベンチャーヒューマンキャピタル&インキュベーションラボ。  
才能の最適配置と  
教育のオルタナティブをキーワードに、  
雇用・教育分野を中心に新サービスを創出し続けます。

スローガン株式会社 [www.slogan.jp](http://www.slogan.jp)

〒107-0062 東京都港区南青山2-11-17 第一法規本社ビル3階  
TEL 03-6434-5220 FAX 03-6434-5221

## 奨励賞

### ビジネス部門



小林さん

東京大学大学院  
不動産投資信託による民間資金を活用した  
大規模住宅団地のスマート化再生ビジネスモデル

現在では住居機能の更新の必要性  
が求められている団地において、  
高層化による建て替えなど、「団  
地再生」を旗印にした取り組みが  
多くなされている。  
そうした中、2011年3月11  
日に発生した東日本大震災では被  
災地以外にもエネルギーの供給問  
題を引き起こし、今後は「このような大災害はもはや想定外」ではないと言われている。加えて、日本  
でも「人口減少」という局面に突  
入して、住宅が余剰になる時代を  
迎える。それらを踏まえて、単な  
再生ではなく、良質な居住空間  
が整備され、なおかつ強靭性で  
ある再生を実現する。  
そこで昭和の年代に開発された  
広大な敷地を持つ大規模住宅団地  
に対して、エネルギー・ソリューシ  
ョンなどの次世代スマート化再生  
組み合わせることで、快適で災害  
に強い住まいを構築する事業を提  
案することにした。高層化ではなく  
民間資金だけではなく民間  
企業実施のスキームを構築する。

小林 寛

快適で災害に強い団地に  
く中低層による住棟の建て替えを  
行うことで、緑地の中に住棟が溶  
け込み、住宅の中からも  
緑を享受できる「森の中  
の住まい」を実現。

## 奨励賞

### ビジネス部門



左からスクリット・ウイナヤウエン  
・ロイ・スクリット・坂田さん

日本には離島や山あるいは、す  
ぐに医者にかかることができない  
場所が少なくない。また、地方で  
の医師不足や、それにによる医療  
過労が叫ばれている。さらに医療  
分野のエコノミーが他の産業と比べ  
遅れていると言わわれている。大規  
模病院への普及率は比較的高い水  
準だが、小規模病院では現在二つ  
はあるものの費用や人材面な  
ど、電子カルテ導入への課題が多  
く普及が進んでいない。

こうした中、スマートフォンの  
アプリケーション(応用ソフト)  
として、診療支援アプリ「Sub  
Doctor」によるビジネス  
主などビジネスプランはB2B  
ビジネスだ。病院と契約し、契約  
の病院の外来患者にアプリケ  
ーションを無料でダウンロードして  
もらう。外来患者は病院の待ち時  
間を使って、氏名、年齢、性別、  
常用薬などの基本情報を入力した  
後、アプリケーションを使って病

院の待合時間有効活用  
気を特定。その後、医師はアプリ  
ケーションの診断を参考にしなが  
ら、最終的に診断する。アプリ  
ケーションから電子カルテ  
の原案を出力して、アブ  
リケーションの診断に問  
題のある場合は、医師は問  
題に加筆修正する形と  
なる。これで患者の待合  
時間を有効に活用して、  
医師の負担を軽減する。  
同時に、アプリケーシ  
ョンと医師の二重のエッ  
ジニアリングによって誤診を減らす  
ことも貢献する。

副次的にアプリケーシ  
ョンをインターネット上  
で有料公開する考えだ。  
まず、6ヶ月間かけて  
アプリケーションとシステムを開  
発する。

## りそな銀行賞

### テクノロジー部門



三浦さん(左)、金石大佑さん

ロボットの開発において、企業  
は大学との産学連携を通して、大  
学を開発技術の「ズ」を提供。大  
学は科学的なエビデンス(裏付  
け)によってロボット技術に対する  
安全・安心を企業に提供してい  
る。医療福祉分野などでは、人間  
とのインタラクション(相互作  
用)が重んじられるため、人体計  
測技術を生かしたロボットの性能  
評価が盛んに行われている。  
しかし、大学生が年度ごとに卒  
業するため、ロボットの評価技術  
を体系的に蓄積することは困難と  
の本質的な課題がある。大学でノ  
ウハウの蓄積が難しいという課題  
は、技術開発の科学的なエビデン  
スの妨げとなり、ロボット技術の  
社会的普及を滞らせる因となる  
。ロボット技術のようない  
テクノロジー(総合技術)は、  
幅広い知識と経験が必要なため、  
体系的な知識を備えた機関でな  
ればロボットの評価は難しい。

そこで大学で培ってきた人体計  
測技術とロボット開発技術を生か  
して、科学的なエビデンスを持つ  
事業「Wevidence(ウェビデン  
ス)」の立ち上げを考  
えた。企業のロボット開  
発技術とWevidenceのロボット評  
価技術による好循環を生成してロボ  
ット技術の早期普及を目指す。

「人間計測技術を用いたロボット評価  
サービス Wevidence」

「Origion」～日本のクリエイティビティを世界に～  
慶應義塾大学大学院  
丸橋 裕史

状態に陥る事態が存在する。  
そこで日本のクリエイターの  
ために、新たなファン  
やスマートケーブルの開拓  
を支援するオンラインプラットフォーム「Origion」を通じて、二つ  
のビジネスを推進している。一つ目はクリエイター  
の作品のイメージデータを生かしたTシャツ、  
フォーンケースなどの販  
売。二つ目は著作権を残  
しつつ、作品を使用する  
権利を欧米の顧客に販売  
するライセンシングビジネ  
スだ。日本両方で法人  
を設立しており事業化の意図は固  
い。

そこで日本でのクリエイターの  
ために、新たなファン  
やスマートケーブルの開拓  
を支援するオンライン



AGSは、さいたま・東京を  
拠点に40年の歴史を持つ、  
ITソリューションパートナー  
です。データセンター「さい  
たまiDC」、「AGS」クラウドα  
などの最新設備や技術は  
もちろん、豊富なノウハウ、  
柔軟な発想とキメ細かな対  
応で、お客様と共に問題を  
解決し、成長と成功を築き  
ます。

**AGS**  
CORPORATION

40年の実績と先進のIT技術で  
信頼のソリューションを。

## IT Innovation Company by NCD

ITとParkingで、社会を、街を変えていく  
それが私達NCDの使命です。

